

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
【部門区分】第1部門第2区分
【発行日】令和6年8月30日(2024.8.30)

【公開番号】特開2023-170020(P2023-170020A)
【公開日】令和5年12月1日(2023.12.1)
【年通号数】公開公報(特許)2023-226
【出願番号】特願2022-81451(P2022-81451)
【国際特許分類】
A 6 3 F 7/02(2006.01)
【FI】
A 6 3 F 7/02 3 2 0

10

【手続補正書】
【提出日】令和6年8月22日(2024.8.22)
【手続補正1】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】

20

【特許請求の範囲】
【請求項1】

遊技者が所有する遊技価値数をデータとして記憶可能であって、前記データに基づいて遊技を行うことを可能に構成された遊技機において、

待機状態に制御可能な制御手段と、

演出を実行する演出実行手段と、

所定の操作が可能な操作手段と、を備え、

前記待機状態において、前記操作手段が操作されることによって、特定設定に設定可能であり、

前記特定設定に設定されると、遊技権の確保に関する特定演出と、遊技者が所有する遊技価値数のデータを記憶可能な記憶媒体の返却に関する所定の注意喚起演出と、を実行可能であり、

30

前記演出には、前記特定設定に設定可能な状態とするかを選択可能であることを認識可能な設定演出があり、

前記設定演出は、電力供給の開始を契機に実行可能である遊技機。

【請求項2】

遊技者が所有する遊技価値数をデータとして記憶可能であって、前記データに基づいて遊技を行うことを可能に構成された遊技機において、

待機状態に制御可能な制御手段と、

演出を実行する演出実行手段と、を備え、

40

前記待機状態には、所定の待機状態と、特定の待機状態と、があり、

前記所定の待機状態から前記特定の待機状態に移行したときに特定設定に設定可能であり、

前記特定設定に設定されると、遊技権の確保に関する特定演出と、遊技者が所有する遊技価値数のデータを記憶可能な記憶媒体の返却に関する所定の注意喚起演出と、を実行可能であり、

前記演出には、前記特定設定に設定可能な状態とするかを選択可能であることを認識可能な設定演出があり、

前記設定演出は、電力供給の開始を契機に実行可能である遊技機。

【手続補正2】

50

【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0005
【補正方法】変更
【補正の内容】
【0005】

上記課題を解決する遊技機は、遊技者が所有する遊技価値数をデータとして記憶可能であって、前記データに基づいて遊技を行うことを可能に構成された遊技機において、待機状態に制御可能な制御手段と、演出を実行する演出実行手段と、所定の操作が可能な操作手段と、を備え、前記待機状態において、前記操作手段が操作されることによって、特定設定に設定可能であり、前記特定設定に設定されると、遊技権の確保に関する特定演出と、遊技者が所有する遊技価値数のデータを記憶可能な記憶媒体の返却に関する所定の注意喚起演出と、を実行可能であり、前記演出には、前記特定設定に設定可能な状態とするかを選択可能であることを認識可能な設定演出があり、前記設定演出は、電力供給の開始を契機に実行可能であることを要旨とする。

10

【手続補正3】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0006
【補正方法】変更
【補正の内容】
【0006】

20

上記課題を解決する遊技機は、遊技者が所有する遊技価値数をデータとして記憶可能であって、前記データに基づいて遊技を行うことを可能に構成された遊技機において、待機状態に制御可能な制御手段と、演出を実行する演出実行手段と、を備え、前記待機状態には、所定の待機状態と、特定の待機状態と、があり、前記所定の待機状態から前記特定の待機状態に移行したときに特定設定に設定可能であり、前記特定設定に設定されると、遊技権の確保に関する特定演出と、遊技者が所有する遊技価値数のデータを記憶可能な記憶媒体の返却に関する所定の注意喚起演出と、を実行可能であり、前記演出には、前記特定設定に設定可能な状態とするかを選択可能であることを認識可能な設定演出があり、前記設定演出は、電力供給の開始を契機に実行可能であることを要旨とする。

30

【手続補正4】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0007
【補正方法】削除
【補正の内容】

40

50